

## ニュース

## 令和6年度新規採用者の入庁式を行いました。

【総務課】

4月15日(月)、近畿中国森林管理局において、新規採用者22名の入庁式を行いました。

## 年度 近畿中国森林管理局



局長訓示の様子

新規採用者の皆さんは、國井局長から「皆さんの入庁を、心から歓迎します。森林は水を守り、国土を守り、生物の命をはぐくむ大切な役割を果たしています。

近畿中国森林管理局は、東は石川県から西は山口県まで、14の府県に所在する国有林の管理、運営に当たっており、1月に発生した能登半島地震の被災地においても今月から治山事業を開始しています。

困ったことは一人で悩まないようにして、上司、先輩に相談してください。

健康や安全にも十分

気をつけて職務に精励

してください」と入庁

のお祝いと各人への期待

について訓示を受け、

代表して福井署の江崎

代表して福井署の江崎



宣誓する新規採用者代表

帆佳さんが、「期待に添えるよう知識・技術の習得に努め、国民全体の奉仕者として業務に邁進する」との宣誓を行いました。

その後に行われた幹部との懇談では、配属先での近況などを話題として意見交換が行われました。

新規採用者の皆さんには、一日も早く職場に慣れ、心身共に健康で活躍頂けるよう願っています。

## 奥能登地区山地災害復旧対策室開所式の開催をしました。

【治山課・石川森林管理署】

近畿中国森林管理局は、令和6年4月12日に石川県金沢市内の石川県森林総合研究センター内開設してに奥能登地区山地災害復旧対策室において開所式を開催しました。

奥能登地区山地災害復旧対策室では、令和6年能登半島地震で被災した民有林における直轄による復旧対策の円滑な実施を図るため、石川県内の関係機関等と連絡調整を図りながら、輪島市及び珠洲市の民有林7箇所における国直轄による災害復旧等事業に着手し、被災地の早期復旧に取り組んでまいります。



局長挨拶



来賓挨拶(県農林水産部次長)



石川署長挨拶



対策室長 事業概要説明



奥能登復旧対策室 集合写真



## 動画ワーキングチームが作成した動画(R5)をホームページに掲載しました。

【総務課】



サムネイル画像

近畿中国森林管理では、国有林の役割や国有林野事業の各種取組について、広く国民の理解を得るためにホームページやメルマガによる情報発信に取り組んでいるところですが、令和5年度、広報活動のさらなる充実を図るため、「動画ワーキングチーム」（以下動画WT）を設置し、国民の皆様への情報発信を推進するとともに、人材の確保・育成にも資することを目的に動画WTに参加した29名の職員が動画の作成に取り組みました。



局内での打ち合わせの様子



撮影現場の様子



サムネイル画像

動画の内容は、近畿中国森林管理局の紹介のほか、若い職員ならではの感性で熱意とやる気が伝わる幅広い内容となっています。是非ご覧いただけましたら幸いです。これらの動画は、下記のホームページに掲載しています。

[https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/2023douga\\_r5.html](https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/2023douga_r5.html)



## 山口県OFによるボランティア活動の実施について

【山口森林管理事務所】

山口森林管理事務所では、葉桜の時期を迎えた4月18日（木）、城山国有林（岩国市横山）において、山口県オールドフォレスターの会（以下OF会<sup>\*</sup>）と今年度第1回目となるボランティア活動「in城山国有林タケノコ除去作業」を実施しました。

当日は、OF会員4名、地元横山地区住民1名と当所職員10名の計15名が参加しました。

城山国有林に隣接する住宅地との境界付近に、この春生えてきたタケノコの除去作業は、竹林の整備を目的に令和3年度から継続的に行っています。タケノコを早期に除去することにより、竹林が周辺の森林を被圧することを防ぎ、<sup>きんたいきょう</sup>錦帯橋の借景となる自然休養林の景観の保全につながるとともに、隣接する住宅地への拡大抑制にもつながります。山口県は全国の中でも多くの竹林面積を有しており、竹林整備対策が重要な課題になっています。当日は、竹林整備の大切さを再確認でき、心地良い汗を流した1日でした。

※OF会とは管内の森林管理署等の退職者で構成された団体で、国有林をフィールドとしたボランティア活動を通じて国民参加の森づくり活動に貢献しています。



作業終了後の集合写真